



だい 第71回

に ほん でん とう

# 日本伝統

こう げい てん

# 工芸展

THE 71st  
JAPAN  
TRADITIONAL  
Kōgei  
EXHIBITION

2024.12/11水 → 25水 会期中無休

開館時間:10時-18時30分(展示室への入場は18時まで)

会場:鳥根県立美術館 〒690-0049 鳥根県松江市袖師町1-5 TEL.0852-55-4700

◆オンラインチケット・ローソンチケット[11月11日より販売]

一般 日本伝統工芸展700円 日本伝統工芸展・コレクション展セット850円

※オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになれます。(ローソンチケット/Lコード61338)

◆当日券

一般 日本伝統工芸展800(640)円 日本伝統工芸展・コレクション展セット950(760)円

大学生 日本伝統工芸展600(480)円 日本伝統工芸展・コレクション展セット700(560)円

※( )内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライロID)、療育手帳、精神

障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

主催:鳥根県、鳥根県立美術館、鳥根県教育委員会、公益財団法人しまね文化振興財団

NHK松江放送局、朝日新聞社、山陰中央新報社、公益社団法人日本工芸会、SPSしまねグループ

後援:鳥根県、鳥根県教育委員会、公益財団法人しまね産業振興財団



文化庁補助事業

山陰在住入選作家作品(左上から右に)《瑠璃釉壺》森和之(鳥取市)、《有線七宝蓋物「雷どけ」》橋詰 峯子(鳥取市)、《白瓷面取鉢》重要無形文化財保持者 前田 昭博(鳥取市)、《広瀬蒔着物「洋洋」》永田 佳子(安来市)、《木綿手紡蒔着物「ピカソ ゲルニカ追憶 Peace」》福井 禎(倉吉市)、《紙塑和紙貼「平穏」》松本 輪加子(松江市)、《存清螺鈿箱》高橋 香葉(松江市)、《纏纏幾何文壺》内田 和秀(松江市)、《硝子鶴首花器「悠遠」》川邊 雅規(出雲市)、《省胎七宝鉢「宙IV」》松本 三千子(松江市)、《紙塑和紙貼「春曆」》小村 真知子(出雲市)、《苔玄釉線紋鉢》花井 健太(鳥取市)、《櫻造拭漆鉢》濱田 幸介(松江市)、《焼締窯変壺》山本 佳瑠(倉吉市)、《青瓷掛分光彩文鉢》坂本章(鳥取市)、《広瀬蒔着物「わたつみのうた」》伊藤 浩二(安来市)

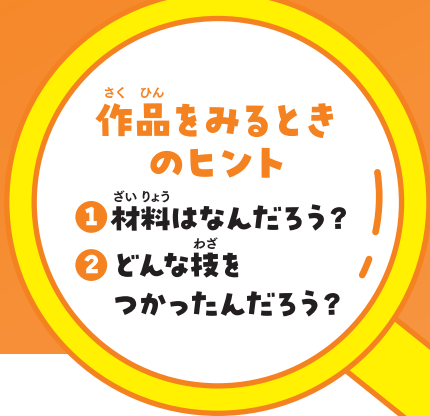
高校生以下無料 鳥根県立美術館





にほんでんとうこうげいでん ねんれきし てんらんかい  
**日本伝統工芸展は70年の歴史をもつ展覧会です。**

ぜんこくあつ さくひん しんさ  
**全国から集まったたくさんの作品のなかからきびしい審査でえらばれた**  
 さくひん しょうかい しまねげん す めい さっか さくひん しょう  
**作品を紹介します。島根県に住む9名の作家の作品もありますよ。賞を**  
 さくひん にんげんこくほう さくひん ちゅうもく  
**とった作品や、人間国宝の作品にもご注目ください。**



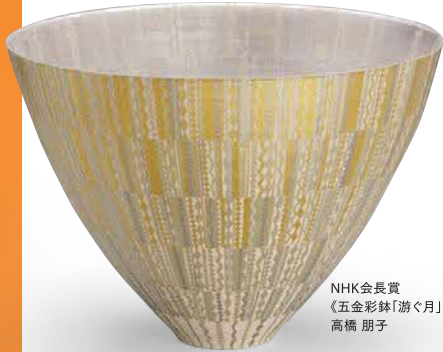
さくひん  
**作品をみるとき  
 のヒント**

- ① ざいりょう  
材料はなんだろう？
- ② どんなわざ  
をつかったんだろう？

さくひん つか ざいりょう わざ わ  
**作品は使う材料と技で7つに分けられているよ**

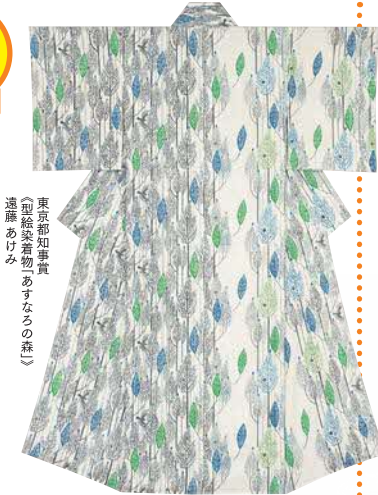
**01 やきもの**  
とうげい 陶芸

つち いし こな ねんど かたち つく  
**土や石の粉を粘土にして、形を作って**  
**焼いたもの。どうやってつかおうか？**  
 おお さら つぼ  
**大きなお皿や壺がたくさんあるよ！**



NHK会長賞  
 《五金彩鉢「游く月」》  
 高橋 朋子

**02 そめもの・おりもの**  
せんしよく 染織

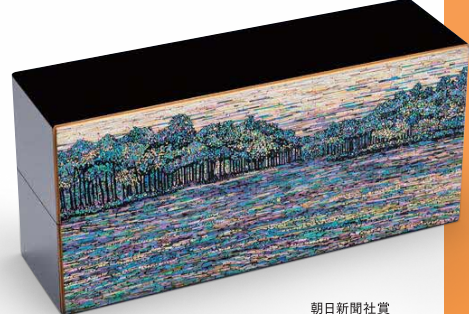


《型染着物あすなるの森》  
 遠藤 あけみ

いと めの お ぬの  
**糸をそめて布に織ったり、布に**  
 えを かいたもの。きもの  
**絵をかいたもの。着物がたく**  
**さんあるよ。着てみたい作品を**  
 さが  
**探してみよう。**

**03 うるしこうげい**  
しつげい 漆芸

うるしの木からとれる樹液をぬって  
 つく  
**作ったもの。ツヤツヤの作品や小さな**  
 さくひん ちい  
**貝のかけらを貼ったキラキラした作品**  
**などがあるよ。**



朝日新聞社賞  
 《螺鈿堆錦箱「汽水域」》松崎 森平

**04 きんぞく  
 こうげい**  
きんごう 金工



日本工芸会総裁賞  
 《鐵地象嵌花器》原 智

きん ぎん どう てつ きん と  
**金や銀、銅、鉄などの金ぞくを溶かし**  
 たた  
**たり叩いたりして作ったもの。もようも**  
 ぜんぶ  
**ぜんぶ金ぞくでできているんだ。**

**05 もくちく  
 こうげい**  
もくちくごう 木竹工



文部科学大臣賞《神代杉造箱》角間 泰憲

き たけ つく つく  
**木や竹をつかって作ったもの。木目と**  
 よばれる木のもようをいかして作っ  
**ているよ。**

**06 にんぎょう**  
にんぎょう 人形



き わし  
**木や和紙などを**  
 つく  
**つakって作った**  
 にんぎょう にんぎょう き  
**人形。人形が着て**  
 ふく こま  
**いる服も細かく**  
 つく  
**作られているよ。**

高松宮記念賞  
 《木芯桐塑和紙貼「あかばな」》  
 満丸 正人



《戦金御座箱(由)の調へ》江里 朋子

**07 いろんなこうげい**  
しよこうげい 諸工芸

いし ざいりょう わざ さくひん  
**ガラスや石などいろいろな材料や技をつかった作品のグループ。これは**  
 きりかね ぎ ほう ほそ き きんぱく  
**截金とよばれる技法をつかっているよ。細く切った金箔をつかってもよう**  
**をかいているんだ。**